

| 北区地域保健福祉計画（平成19年度～平成28年度） | |
|---------------------------|---|
| 基本理念 | 「健やかに安心してらせるまちづくり」～はぐくもう！地域の福祉力～ |
| 目標 | (1)健康でいきいきとした地域社会づくり |
| | (2)ともに支え合う地域社会づくり |
| | (3)安心して自立した生活が送れる地域社会づくり |
| 取り組みの方向 | (1)区民の主体的参加による健康づくりの推進 生涯を通じて、健康でいきいきとした生活を送るために、日頃から、自らの健康に関心を持ち、栄養、運動、休養の調和のとれた生活習慣を身につけて生活することが重要です。 区民が主体的に健康づくりに取り組めるよう、区、地域、家庭、学校、職場、団体などの関係機関や関係者と協働し、総合的な健康づくり施策を推進します。 |
| | (2)地域内での情報の提供と共有化 地域を支える様々な区民活動が生まれてきていますが、それらの活動の内容が必ずしも地域住民に十分に知られていない状況です。 地域内の様々な活動や支援機関が知られ、地域住民に活用されるよう、情報提供を充実するとともに、情報の共有化を支援します。 |
| | (3)地域福祉に関連する人材の発掘・育成 地域では、ボランティア活動をはじめ、様々な団体活動が行われてきていますが、地域活動の中核となるリーダーが不足している状況にあります。 地域活動に参加する機会を創出し、その中から地域活動を担う人材を発掘・育成していく取り組みを強化します。 |
| | (4)地域における交流・支えあい活動の推進 地域内での交流に関しては、必要性は感じているものの、希薄になってきている現状があります。 生活上の不安があっても、孤立せず地域で見守り、見守られながら、必要な時に助けあいが無理なく行われるよう、地域内交流のきっかけづくりや支えあい活動を推進します。 |
| | (5)地域内での連携・ネットワークの構築 地域においては、町内会やボランティア団体、NPOなどによる個性ある活動が多く生み出されてきていますが、地域に必要な支援が適切に行われるためには、このような活動団体が地域において互いの特性を認め合いながら共存し、必要に応じて連携しながら地域の課題に対応していくことが望まれます。 地域内で活動者が互いに知り合い、ネットワークを構築できるような仕組みづくりを推進します。 |
| | (6)地域活動が生み出されるきっかけづくり 地域の生活上の課題が多様化し、質的にも様々なものが求められてきている状況では、区民が自ら地域のことを考え、区民同士で課題を共有することが重要です。 区民が地域に関心を持ち、地域の課題に応じて様々な活動が生み出されるようなきっかけづくりに取り組みます。 |
| | (7)サービスの充実と総合化 多くの保健福祉サービスが行われるようになりましたが、サービスの利用者にとっては、サービスそのものが良質であるとともに、必要なサービスに適切に結びつくことが重要です。 区民のニーズが身近な地域で把握され、適切にサービスに結びつく仕組みづくりを進めるとともに、保健・医療・福祉の連携のみならず、住宅・教育等の様々な生活関連分野との連携を図り、総合的にサービスを提供できる体制を確立します。 |
| | (8)サービスの利用を支援する仕組みづくり 保健福祉サービスの利用者が、自己決定・自己選択に基づき、サービスを選択することが可能になりました。 サービスの利用者が多くのサービスの中から適切なサービスを選択するための情報提供体制の整備に取り組むとともに、保険福祉サービス事業者と対等な立場で安心してサービスを利用するための権利擁護の仕組みを充実します。 |
| | (9)地域で安心して暮らせる環境の整備 地域で安心して暮らしていくためには、日常生活の支障となっているものを取り除くことが重要です。 建築物や道路の段差をはじめとして、私たちの周りには様々な障壁がありますが、高齢者や障害者の視点に立って、バリアフリー化を進めていくとともに、急病や災害など緊急時に備えた体制の整備を進めます。 |
| 視点 | (1)区民の主体的参加 |
| | (2)地域支えあいの推進 |
| | (3)利用者本位のサービス提供 |



「健やかに安心してらせるまちづくり」～はぐくもう！地域の福祉力～

| 北区地域保健福祉計画（平成29年度～平成38年度）体系案 | | | 上段：ワークショップでの意見（こんなまちにしたい） 下段：検討事項 |
|----------------------------------|-------------------------|---|---|
| 基本理念 | 基本目標 | ワークショップでの意見（現状と課題） | |
| 「健やかに安心してらせるまちづくり」～はぐくもう！地域の福祉力～ | 1 健康でいきいきとした地域社会づくり | [現状と課題] ・組織づくり ・行政を動かす ・行政の視野がせまい ・課ごとの壁を区民の力で取り払う ・区(行政)の問題意識 ・責任という課題 ・多世代交流かかわりが少ない ・気軽に立ち寄れる(高齢者)が少ない ・ひとりで悩みすぎ ・悩みを出せる場(障害、子育て、介護) | [こんなまちにしたい] ・高齢者と若者が一緒に活躍できるまち ・健康でいきいき暮らせる地域 ・男性が生き生きする場 ----- 以下の項目を検討 ・地域の健康づくり ・生きがい就労 ・社会参加活動の促進 ・自殺対策 |
| | 2 ともに支え合う地域社会づくり | [現状と課題] ・役所からの情報のルートの固定化 ・知ることと伝えること ・情報に困っている人。何か手伝えることがあるかも。 ・人材の把握がない ・リーダーの養成 ・民生児童委員のなり手が少なくなってきた。 ・地域にいる人のスキルを活かす(今はうもれている) ・同じ人たちが集まる傾向 ・近所の人が声を掛けてくれる仕組み ・活動の場所、拠点の確保 ・町会単位で取り組めることがないか。 ・ひとり暮らしの高齢者が多い。近所で支え合っているが ・子ども、障がい者、高齢者世代などを超えた場 | [こんなまちにしたい] ・勤めていても地域で交流できるまち ・横のつながりがあるまち ・大学生とのコラボ ・多世代交流(かきまぜる) ・外国人コミュニティのサポート ----- 以下の項目を検討 ・避難行動要支援者対策(日頃の見守り活動、自主防災組織の支援等) ・高齢者孤立防止(見守り) ・認知症サロン ・ふれあい交流サロン ・地域のきずなづくり ・ボランティアポイント ・大学とのコラボレーション ・CSW(コミュニティソーシャルワーカー) |
| | 3 安心して自立した生活を送れる地域社会づくり | [現状と課題] ・大きな受け皿の発展 ・自分で出られない。移動手段の問題。 ・地域によっては買い物難民になってしまう。 ・2・3月保育所の空きがない。入りにくい。 ・福祉的なサービスや形が充実してきた(20年前と比べて) ・病児保育が充実している ・病児保育が知られていない ・情報弱者 ・坂の多いところはエレベーター(エスカレーター)がない | [こんなまちにしたい] ・地域内での活動を支える土台・仕組みがあるまち ・ユニバーサルデザイン・バリアフリーのまち ・移動販売 ----- 以下の項目を検討 ・地域包括ケアシステムの推進 ・生活困窮者自立支援法に基づく生活困窮者支援 ・子どもの貧困 ・子育て世代包括支援センター ・地域医療 ・障害者差別解消(障害者理解、心のバリアフリー、障害者優先調達推進法) ・権利擁護の推進(成年後見制度) ・地域共生社会の実現 ・福祉避難所 ・複合施設(高齢・障害・子育て)の整備・充実 ・住宅セーフティネット制度 |